

2022年4月ドミニカ（共）内政、外交、経済定期報告

在ドミニカ共和国日本国大使館

1 内政

（１）１日付「リスティン・ディアリオ」紙は、３月２９日の電力監査庁（SIE）の決議により、送電各社（Edesur、Edenorte、Edeeste）は、本年４月から６月の間電気料金を９％値上げする旨報道。

（２）１２日、検察庁は国際的ブランドの宝飾品の偽造を専門とする犯罪組織を摘発し、同活動に関与したとされる５人を逮捕。

（３）１８日、アビナデル大統領は、建設セクター労働者の賃金を２４％引き上げると発表。

（４）２３日付「エル・カリベ」紙は、国家警察中央捜査局のデータを引用し、過去３年間、ドミニカ（共）では週平均２人の行方不明者が報告されている旨報道。

（５）２８日、環境資源省と国連食糧農業機関（FAO）は、ドミニカ（共）の森林火災の管理及び防止のための技術支援協定に署名。

（６）３０日付「リスティン・ディアリオ」紙は、２０２２年１月から３月の間にフェミサイドにより２４人の女性が殺害された旨報道。

（７）３０日、厚生省疫学総局は、当国の新規感染者が前日比で６５名増加し、累計症例数５７９、３７９名（うち死者４、３７６名、治癒者５７４、６８３名）となった旨発表。

2 外交

（１）５日、ブラジル政府はドミニカ（共）政府に対し、１００万を超える数の三種混合ワクチン（ジフテリア・破傷風・百日咳）、不活化ポリオワクチン（IPV）、ウイルス三種混合（麻疹・流行性耳下腺炎・風疹）、希釈瓶を供与。

（２）１２日、米務省は人権報告書を発表。ドミニカ（共）政府の治安部隊による違法または恣意的な殺害、警察によるセクシャル・マイノリティへの暴力等が報告された。

（３）１４日付「エル・ディア」紙は、ルイス・ゴンサレス・カリベ大学国際研究分析センター長の寄稿文を掲載。中国の発展の意図は平和的で、互いに尊敬し、平和で多極的な世界であるが、右を信じず、中国を危険視するジョージ・フリードマン氏をはじめとする西洋の有識者と対峙している旨言及。

（４）２１日付「エル・ディア」紙は、ナナ・ユリアナ・インドネシア大使（駐キューバ）のインタビュー記事を掲載。同大使は、両国の貿易額が８、５００万ドルに達したと述べ、公衆衛生、経済、社会的・文化的関係、国際政治関係の強化を今後２年間の優先事項として強調。

(5) 21日、金物店に勤務するドミニカ(共)人女性が同店で働く中国人を殺害する事件が発生。28日、当地中国大使館は加害者の逮捕を要請する声明を発表。

(6) 26日、マウリシオ・クラベル-クロネ米州開発銀行(IDB)総裁は、アルモンテ・エネルギー・鉱山大臣と会談し、発電拡張計画及び2030年に向けた再生可能エネルギー増加取り組みについて協議。

(7) 26日付「リスティン・ディアリオ」紙は、ドミニカ(共)と中国の外交関係樹立4周年及びドミニカ(共)に対する中国の支援等に言及したZhang Run 当地中国大使の寄稿文を掲載。

(8) 29日、アビナデル大統領は、ドミニカ(共)を公式訪問したドゥケ・コロンビア大統領と炭化水素産業分野に係る経験の共有及び開発促進に向けた協力、警察改革に係る協力、入国情報交換のための協力、スポーツ交流強化に関する合意からなる二国間関係の強化を目的とした5つの協定に署名。

3 経済

(1) 1日、当國中銀は、インフレやロシアのウクライナ侵攻等を受け、金融政策金利を年間5%から5.5%に引き上げる旨発表。

(2) 10日、マカルージャ大統領府大臣は、2022年、ドミニカ(共)は3,400百万米ドルを超える外国投資を受け、マンサニージョ港建設、ペデルナレス観光開発、都市交通計画等の公共事業を実施する旨発表。

(3) 11日、アビナデル大統領は、ソフトウェア開発を専門とするインドの大手グローバル技術コンサルタント会社「Pro V International」社の開業式に出席。同社の設立により、2023年までに300人以上の雇用が創出される予定。

(4) 11日、アビナデル大統領は、当国の零細コーヒー生産者の長期債務397百万ペソの債務免除を発表。

(5) 20日、ドミニカ(共)政府はマンサニージョ港の改修・拡張プロジェクトの国際入札プロセスを開始(5月16日まで)。同プロジェクトには、米州開発銀行(IDB)からの融資(1,000百万米ドル)が提供され、港湾(46百万米ドル)、道路整備(44百万米ドル)、港湾管理(6百万米ドル)、環境整備(4百万米ドル)に使用される予定。